

北海道教育大学附属函館中学校 副校長 黒田 論

「一年間を振り返って」

まずは生徒の皆さんへ、言葉のもつ力について改めてお伝えします。この一年間、学校内外で様々な人たちと関わる中で、言葉を介したやり取りがあったことと思います。その際、相手に伝えたいことが適切に伝わっていたでしょうか。同じ内容の「言葉」でも、相手やその場の状況によって受け取り方というのは異なるものです。過不足のないように伝えつつも、あいまいさが残ったり、時には誤解を生んだり。もしかすると、伝えるべき言葉を伝えていない場面もあったかもしれません。私は言葉のもつ力は大きいものだと思っています。それは、挨拶やお礼といった定型で用いることが多い言葉も同様です。例えば、いつも身近にいる人たちに、「～をありがとう」と心を込めて伝えてみてください。ぜひ、自分自身のためにも。

そして保護者及び関係の皆様へ。本年度、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けつつも、本校においては、子供たちの学びを止めないよう、考え得る感染対策を講じながら教育活動を進めて参りました。特に日々の学習においては、一人一台端末を活用した取組の中で、各教科等での資質・能力に加え、情報活用能力についても教科等横断的な視点でその育成を図って参りました。令和元年度以来三年ぶりに開催した教育研究大会や、国立教育政策研究所委託事業、他校との遠隔交流授業など、附属学校としての使命を果たすべく行った取組については、可能な限り本校の公式ホームページにて紹介しているところです。

また、感染症対策等の様々な制限のある中で、本校の生徒たちは学校内外において、運動面、文化面ともに、それぞれの個性が光る活躍を見せてくれました。具体につきましては、「桐の花 一七十三号一」(北海道教育大学附属函館中学校生徒会)も併せてご覧いただければと存じます。

子供たちには、解き方があらかじめ定まった問題を効率的に解いたり、定められた手続を効率的にこなしたりすることのみならず、直面する様々な変化を柔軟に受け止めるとともに、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となっていけるようになってほしいと願っています。保護者及び関係の皆様には、引き続き、本校に対するご支援・ご協力をお願い申し上げ、一年間の振り返りとさせていただきます。